

한통련 뉴스레터

제76호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●今年前半期の韓米合同軍事演習、来月4日から11日間…韓米は戦争挑発を中止しろ！



昨年実施された韓米合同軍事演習

今年前半期の韓米合同軍事演習は来月4日から14日まで11日間、実施される。

韓国政府関係者は2月5日、「来月の『自由の盾 (フリーダム・シールド、Freedom Shield、FS)』合同演習はコンピューターシミュレーションを利用し進行される」とし、「北の核・ミサイルを含む軍事的挑発シナリオを想定し、合同防衛態勢を点検する予定」と明らかにした。

韓米は従来、演習を1部(防御)・2部(攻撃)に分け9日間、実施してきたが、昨年からは1・2部の区分なしに11日間連続で行い、今年も同様に進行する予定。また多数の野外実動機動演習も実施する。FS合同演習は師団級合同上陸演習と20余の韓米合同野外機動演習を過去の「フォール・イーグル」演習の水準で行う計画。韓米海兵隊が参加する双竜合同上陸演習を手始めに、合同攻撃ヘリ射撃演習、合同海上哨戒作戦などを進行する。

朝鮮はFSなど合同演習を「北侵戦争演習」と規定しており、先月28日、韓米合同演習と米国戦略資産の朝鮮半島への配置を取り上げ、「もし戦争の導火線に火がつく場合、われわれの無慈悲な征伐の目標になる」と警告した。

韓米は戦争を挑発する合同軍事演習を直ちに中止しなければならない。

●4月総選挙、進歩民主連合で尹政権を厳しく審判しよう！



選挙連合推進のための連席会議

李代表、「比例連合政党」決断

進歩党は2月2日、準連動型を基礎に進歩政党と野党第一党「共に民主党」が連合し、進歩民主勢力で尹錫悦(ユン・ソンニョル)政権を審判しようと緊急提案した。

共に民主党の李在明(イ・ジェミョン)代表は5日、光州で記者会見を開き、「政

権審判と歴史の前進に同意するすべての勢力と共に、連動型の趣旨をいかす統合型比例政党（比例連合政党）を推進する」と明らかにした。

これに対し、進歩諸政党、具体的には進歩党、「緑の正義党」（正義党と「緑の党」で3日に結成）、新進歩連合（基本所得党と「開かれた民主党」などで3日に結成）は一斉に歓迎を表明。また、市民社会団体「政治改革と連合政治実現のための市民会議（連合政治市民会議）」も歓迎論評を通じて、「民主・改革・進歩諸政党と市民社会がすぐさま選挙大連合構築のための論議に着手すること」を訴えた。

与党「国民の力」は李代表の決断に当惑し反発したが、準連動型に備えて衛星政党「国民の未来」の結党を準備している。

離党政治家ら、「改革新党」結成

与野2大政党を離党した政治家らが結成した新党4党が9日、合併して総選挙に臨むことを発表した。

合併するのは与党「国民の力」元代表の李俊錫（イ・ジュンソク）氏が結成した「改革新党」、共に民主党元代表の李洛淵（イ・ナギョン）元首相や同党を離党した議員らが中心となって結成した「新しい未来」、共に民主党を離党した琴泰燮（クム・テソプ）前国会議員が率いる「新しい選択」、同じく共に民主党を離党した李元旭（イ・ウォンウク）議員が率いる「原則と常識」の4党。

発表によると、新党の党名は「改革新党」とし、李洛淵氏と李俊錫氏が共同代表を務める。（※李洛淵氏は20日、改革新党との合併を撤回した）

3野党・市民会議、「民主進歩選挙連合」に合意

共に民主党と進歩党、新進歩連合の3野党と連合政治市民会議は13日、国会本館で「民主改革進歩選挙連合推進のための第1回連席会議」を開き、総選挙で「互恵的な民主改革進歩選挙大連合の構築を推進すること」に合意した。また、参加者らは「緑の正義党の速やかな参加に期待する」と付け加えた。

このほかの合意事項は△民主改革進歩選挙連合は持続的な政治改革と政治連合、比例代表の推薦での連合、地域区での連合などを含め統合的に推進△地域区での連合と比例代表推薦での連合を実効性あるように推進するために各政党間の政治協商を迅速に進行△政策連合の場合、連合政治市民会議が主管する「2024総選挙 改革政策課題 4野党招請討論会」と別途に、統合的な政策連合の協商を適切な方式で推進△第2回連席会議は政治協商と政策連合協商の結果について最大限、早期に開催するなどだ。

4野党・市民会議、合同政策討論会を開催

共に民主党、緑の正義党、進歩党、新進歩連合の4野党と連合政治市民会議は16日、国会議員会館で合同政策討論会を開催し、△大統領の拒否権・施行令による統治を阻止△大統領選挙における決選投票制の導入△検察権力に対するけん制△気候変動の克服などで一致し、第7共和国のための改憲連帯の必要性に同意した。討論会には民弁や参与連帯なども参加した。

緑の正義党は、13日に第1回が開催された連席会議への参加の可否については内部で論議中だが、討論会には参加した。

第1回の討論会を終えた4野党と連合政治市民会議は、来週にも継続して討論会を開催し合意を形成する予定。

緑の正義党、比例連合政党には不参加

緑の正義党は17日に開いた全国委員会を通じて、共に民主党など3野党と連合政治市民会議が進める比例連合政党に参加しないことを決定。「共に民主党が提案した比例連合政党は準連動型比例代表制度の導入趣旨に反する点で、衛星政党との論難から自由ではない」と理由を説明した。ただ、同党のキム・ジュヌ常任代表は18日、「尹政権審判と中断なき政治改革のために、幅広い政策連合と地域区連帯を積極的に推進することを決定した」と明らかにした。民主党は同党の意向を尊重するとした。

進歩民主連合の成功と勝利を

大統領選挙での候補一本化や総選挙・地方選挙で特定地域における候補一本化などは過去にも数回あったケースだが、比例代表候補から地域区候補、そして政策まで広範囲に複数政党の連合を構築しようとする試みは、ほとんど初めてとあってよい政治実験だ。各党の事情が異なるにもかかわらず、3野党が合意したのはまさに、尹錫悦政権の暴走と退行にストップをかけ、進歩改革民主へと政治の針を進めなければならないとする国民の熱望が緊急でかつ切実だからである。

緑の正義党の不参加は残念だが、引き続き合同討論会への参加を実現しながら、可能な範囲での連合を構築できるように、それぞれの努力に期待したい。

●カリスト卒業式で卒業生を強制排除…尹政権、暴力で民主主義を弾圧



警護員に阻止される卒業生

韓国中部・大田にある理工系最高レベルの国立大学、韓国科学技術院（KAIST、カリスト）で2月16日、学位授与式（卒業式）が行われ、尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領が出席し祝辞を述べた。祝辞の途中、ある卒業生が尹大統領に向けて抗議すると、警護員たちが学生の口をふさぎ、腕や足を持ち上げて会場の外に強制的に連れ出した。

大統領室は「（大統領）警護区域内での警護安全確保や会場の秩序確立のため」に男性を会場から退場させたとして、「法と規定、警護原則による不可避な措置だった」と説明した。

この卒業生は同日午後、X（旧ツイッター）に「富裕層への減税を中止し研究開発（R&D）予算を復元するよう求めた」

国民の力は、比例選挙区制度について並立型への回帰に重点をおきながらも、現行の準連動型も想定していた。同党はすでに衛星政党を準備しているが、この衛星政党と野党が推進する比例連合政党とは性格もその志向性も異なる。国民の力の悪宣伝に屈してはならない。

一方、「第3地帯」を標榜する改革新党は選挙結果と情勢変化によっては、国民の力を補完する勢力へと転じる可能性が大きい。

今回の総選挙は民生と民主主義、平和と国益を守るために重要な選挙だといえる。野党と市民社会が進歩民主連合で総選挙に勝利し尹政権を厳しく審判しなければならない。

「これから鎮圧の不当性を明らかにしていく」と投稿。カリスト卒業生らは17日、記者会見を開き、予算削減と強制排除に関連して尹政権を糾弾し謝罪を求めた。

野党はこの弾圧事態を一斉に批判。進歩党のユン・ヒスク常任代表は「尹大統領はカリスト卒業式で『科学強国』のためにR&D予算を大幅拡大すると発言したが、政府は今年度のR&D予算を前年対比で15%削減している。こうした予算削減は1991年以来はじめて」と指摘。「選挙が近づけば、なんでも発言できるのか」「口をふさがなければならないのは尹大統領自身ではないのか」と非難した。

先月18日にも「全北特別自治道」発足式で、進歩党のカン・ソンヒ国会議員が尹大統領に「国政基調の転換」を訴えたところ、大統領の警護員に口をふさがれ強制退場させられる事態があった。

尹政権は国会議員の口をふさぎ、今度はカリスト卒業生の口をふさいだ。聞きたくない言葉には耳を傾けようとしない尹大統領、それを忖度し聞かせようとしない大統領室。国民との疎通を拒否する尹大統領には大統領としての資格はない。暴力で民主主義を破壊する政権の末路を尹大統領は考えてみるべきだ。

활동보고 活動報告

●東京民主実践連帯が歴史フィールドワーク開催…千葉「名も無き女の碑」など訪問



「名も無き女の碑」を訪れた参加者

東京民主実践連帯は2月10日、千葉県鴨川市内で歴史フィールドワークを開催した。今回訪問したのは鴨川市の慈恩寺に建てられた元日本軍「慰安婦」の慰霊碑「名も無き女の碑」と、同市の長興院にある済州島出身者の墓碑。

「名も無き女の碑」は1973年に建立。元日本軍の衛生兵だった荀込善一氏と井谷忠衛氏が太平洋戦争中にパラオのアンガウル島で出会った元日本軍「慰安婦」被

害者を悼み、戦後慰霊碑を立てようと奔走。当時は住民の反対にあい難航していたが、荀込氏の地元の慈恩寺でようやく建立することができた。刈込氏はその後、遺骨収集のためにアンガウル島を訪問し、現地に慰霊碑を建てている。「日本のメディアが伝えない週刊韓国ニュース」の金床憲（キム・サンホン）氏によると、「日本各地に元日本軍『慰安婦』を慰霊する碑はいくつかあるが、日本人『慰安婦』を弔っている碑は貴重であり、今後より多くの人に知ってほしい」と語った。

長興院では済州島出身者の墓碑を訪問。墓碑に朝鮮半島の出身地が記載されており、参加者は当時の同胞の暮らしに思いを馳せた。

韓統連の李俊一（イ・チュニル）事務長はフィールドワークを振り返り「千葉・鴨川の歴史はこれまであまり知られておらず、今回は貴重な機会となった。今後もこのような取り組みを積極的に行っていきたい」と語った。

●都内で「東京総行動」開催…日本製鉄、日東電工などに対して抗議行動



あいさつする大森議長

自立した争議団が共闘し連帯しながら、争議の解決を求めると共に、社会的政治的課題を取り上げ声をあげる一日行動、「東京総行動」が2月15日、実施された。主催は「けんり総行動実行委員会」。

東京駅近くの日本製鉄本社前で出発集会を開催。東京全労協の大森進議長が「今日

の一日行動を通じて、働く権利・働く者の権利・人間としての権利を守り抜こう」と主催者あいさつした。

「日本製鉄元徴用工裁判を支援する会」のメンバーは、「会社側は、自らが起こした『強制労働』という人権侵害に真摯に向き合い、解決に向けて努力すべき」とアピールした。

次に品川の日東電工東京本社前に移動。

「韓国オプティカルハイテック労組を支援する会（支援する会）」と合同で日東電工に対する抗議申し入れ行動を展開した。第3次遠征闘争で訪日中の「韓国オプティカルハイテック支会」の労組員が、「親会社の日東電工は工場の強制撤去（翌16日に予定）をするな」「日東オプティカルへの

雇用継承を行え」「日東電工は団体交渉に応じろ」と訴えた。「支援する会」では毎月第4月曜日に抗議申し入れをしている。

一日行動は、JAL本社（天王洲アイル）前での抗議行動で締めくくった。

第22代 韓国国会議員総選挙 在外投票案内



2024年4月10日に実施される第22代韓国国会議員総選挙に、在日同胞も投票できます。初めて投票する方は事前に選挙人登録が必要ですので、期限内に各地の韓国領事館で登録してください。

在外選挙人登録申請期間 2024年2月10日まで
投票期間 2024年3月27日～4月1日まで

手続きの詳細は在外選挙 中央選挙管理委員会ホームページでご確認ください
<https://www.nec.go.kr/site/abroadja/main.do#>

選挙案内ピラを作成しました。下記からダウンロードできますので、ぜひご利用ください
<https://chuo.korea-htr.org/plan/1820/>

행사예정 行事予定

3月

尹錫悦政権弾劾集会(東京)

日時: 3月9日(土) 午後5時30分 場所: 京成上野駅前 主催: 東京民主実践連帯 連絡先: 090-4298-6113 (李)

Kyoto Onekorea Network 情勢講演会「緊迫する朝鮮半島情勢」

日時: 3月17日(日) 午後3時受付、3時30分開始 場所: キャンパスプラザ京都 内容: 情勢講演(講師: 金昌五(キム・チャンオ) 韓統連副委員長) 参加費: 500円 主催: Kyoto Onekorea Network 連絡先: 075-862-2320

2024韓国総選挙を考える集い

日時: 3月24日(日) 午後1時30分受付、2時開会 場所: KCC会館 内容: 講演「韓国国会議員選挙と私たちの課題」(講師: 金昌五(キム・チャンオ) 韓統連大阪本部副代表委員) 参加費: 800円(青年・学生500円) 主催: 韓統連大阪本部 連絡先: 090-3822-5723 (崔)

情勢学習会(神奈川)

日時: 3月10日(日) 午後1時45開場、2時開始 場所: ミューザ川崎 内容: 情勢講演(講師: 李俊一(イ・チュニル) 事務長) 主催: 韓統連神奈川本部 連絡先: 090-1049-4261 (文)

編集後記 3月にまたしても韓米合同軍事演習が強行されようとしています。朝鮮半島の緊張状態がかつてないほど高まっている中での戦争演習は危険極まりないものです。強く反対の声をあげていきましょう (李)